

# 自覚的定量眼位検査—斜位の検査 I Maddox 小杆による方法

目的

斜位の検出と定量

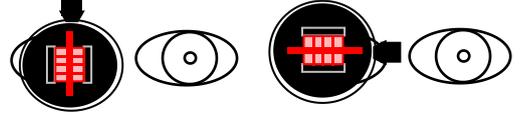
準備物 Maddox 小杆・光源・棒(回転)プリズム・検眼枠

カバーテストで斜位であることを確認し、半暗室にて 5m と 1/3m の距離にて明るい光源を眼の高さで見せる  
もちろん矯正上  
でね。

Maddox 小杆 (赤色が良い) を上下斜位なら小杆を垂直に、水平斜位なら水平に被検者に装着させて光源を固視させる

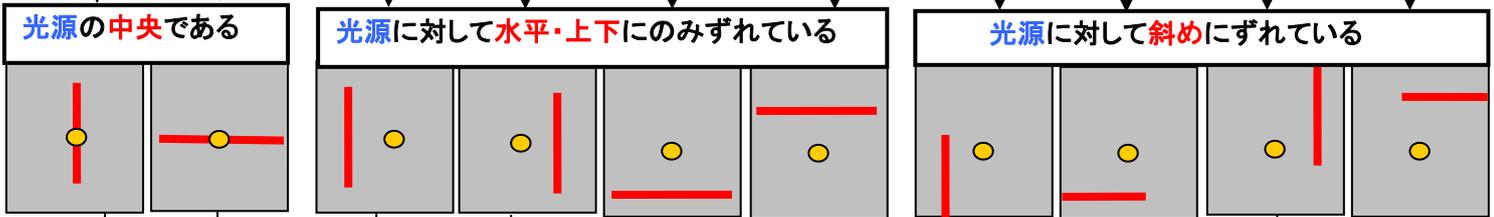


渡辺聖:眼科検査ガイド P309



YES 小杆の線の位置は光源の中央か? NO

\* 右眼に小杆を装着した場合



交差性 同側性 下方 上方 下方で交差性 上方で同側性

正位 (融像力の強い斜位)  
外斜位 内斜位 小杆眼の上斜位 (非小杆眼の下斜位) 小杆眼の下斜位 (非小杆眼の上斜位) 小杆眼の外上斜位 (非小杆眼の外下斜位) 小杆眼の内下斜位 (非小杆眼の内上斜位)



回転プリズム 但し現在は発売中止。金谷まり子:視能矯正マニュアル P154 図 18

小杆装用眼上に中和方向に弱い度数の棒(回転)プリズムを装用する

Base in Base out Base down Base up Base in Base down Base out Base up

棒(回転)プリズムを増加させ、線と光源が重なったら答えるように指示する

例) 交叉性で 10△Base in で線が光源の中央で重なった!

そのプリズム度数が自覚的な斜位置量(単位は△)

記載例)

Maddox 小杆による方法

1/3m XP 10△Base in 又は -10△  
5m XP 10△Base in 又は -10△

屈折矯正の有無も記載すべきだが、記載は色々。

自分の結果を書いておこう!



APCTの結果と比べてみよう! これは自覚検査だね。

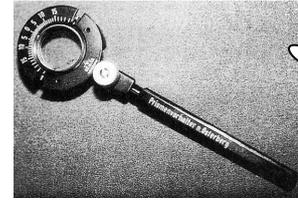
# 自覚的定量眼位検査-斜位の検査Ⅱ プリズム分離テスト

参考)アトラス斜視 P54

目的

斜位の検出と定量

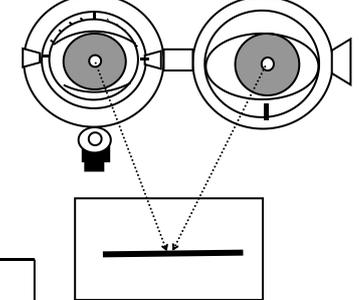
準備物 棒(回転)プリズム・検眼棒・5~6△のプリズム  
・1本の直線が記入された紙・検眼枠



回転プリズム 金谷まり子:  
視能矯正マニュアル P154 図 18

ただし現在は  
発売中止。

回転プリズム プリズム基底下方



もちろん矯正上  
でね。

検査したい距離にてあらかじめカバーテストで斜位であることを確認しておく

水平偏位なら 5~6△プリズムを片眼の前に基底下又は上方に装用し、他眼に回転プリズムを度数なしにして(棒プリズムの場合は未装用)白い紙の上にかかれた1本の水平線を検査したい距離にて紙面と視線とを垂直にして見せる

NO 頭をまっすぐにして、2つの線が垂直  
および水平方向にずれるか? YES

\* 左眼にプリズムを基底下方に装用した場合

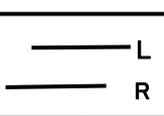
上下にのみ  
ずれる



水平偏位なし  
(融像力の強い斜位を含む)

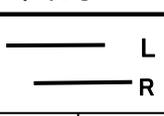
装用したプリズム以上の  
上下ずれがある場合は  
確実に上下偏位もあるね。

交差性  
に  
ずれる



外斜位

同側性  
に  
ずれる

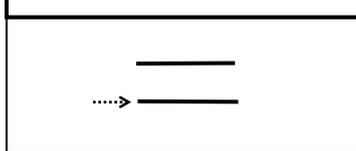


内斜位

2つの線の水平ずれがなくなるまで、中和  
方向に回転(棒)プリズムを増やす

例)

同側性で2つの線が8△で  
水平ずれがなくなった!



そのプリズム度数が自覚的な斜位量(単位は△)

記載例)

プリズム分離テスト  
1/3m EP 8△Base out 又は+8△

屈折矯正の有無も記載  
すべきだが、記載は  
色々。

自分の結果を書いておこう!

APCTの結果と比べてみよう!  
これは自覚検査だね。